
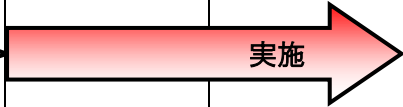


【実施計画】

番号	1-3-6
----	-------

改革の視点	1 権限	基本的な方向	3 利用者に配慮した行政サービスの向上		
実施計画項目	6 住基カードの多目的利用の検討		改善の視点	ツール(道具・手法・手段を見直す)	
内 容	住基カードは高いセキュリティ機能を持つとともに、ICチップの中に独自利用領域として確保できる部分があり、市はこの部分を活用し、様々なサービスを住民に提供することができる。また、国においては、社会保障カードの平成23年度中導入が予定されており、住基カードとの一体化が検討されている状況にある。そのため、住基カードの普及促進に取り組むとともに、住基カードの特性をいかした多目的利用サービスを検討し、行政サービスの質的向上を目指す。		主体課	市民課	
			担当課所	情報政策課	
			担当課所	関係各課	
達成目標			評価の手法		
<p>【対象とするサービスの選定と実施について検討】</p> <p>導入コンセプトを決定し、多目的サービスの絞り込みを行う。実施に必要な導入システムについて検討を行う。</p> <p>【住基カードの普及促進】</p> <p>積極的な広報活動、説明会等により、住基カードの普及促進に取り組む。</p>			<p>【実施効果について検証】</p> <p>サービスを実施し、実施効果について費用対効果を含め検証を行う。</p>		
年 度	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)
実施スケジュール					
評価の時期				○	○
目標の内容	対象サービス及び実施方法について検討	対象サービス及び実施方法について検討	検討結果の報告	個人番号カードの利活用について再検討	個人番号カードの普及促進、利活用について検討。
平成22年度までの主な推進状況	新居浜市の住基カードの交付状況(平成22年7月末現在) 有効交付枚数 2,569枚、普及率 約2%				

【取組結果】

年 度	担当課所	取組内容、見直し効果等の説明	進捗率(金額等)
平成23年度 進捗状況	主体課 (とりまとめ課)	多目的利用の導入については、費用対効果を検証するとともに、社会保障・税番号制度の検討状況(平成 26 年度導入と当初から変更となっている)など国の動向にも十分注視しながら調査研究を行って行く。	住基カードの交付状況(24 年 3 月末) 交付枚数 4,016 枚、普及率 3.2%
	担当課所		
平成24年度 進捗状況	主体課 (とりまとめ課)	社会保障・税番号制度の導入により個人番号カードが発行され、住基カードの新たな発行は廃止される予定である。個人番号の活用について、今後国の動向を見極めながら検討する。	住基カードの交付状況(25 年 3 月末) 交付枚数 4,467 枚、普及率 3.6%
	担当課所		
平成25年度 進捗状況	主体課 (とりまとめ課)	社会保障・税番号制度の導入について、具体的な国からの通知等を待っている状況である。個人番号カードの活用について、今後の国の動向や他市の状況等も勘案しながら検討する。	住基カードの交付状況(26 年 3 月末) 交付枚数 4,972 枚、普及率 4.0%
	担当課所		
平成26年度 進捗状況	主体課 (とりまとめ課)	社会保障・税番号制度の導入に伴い、住基カードから個人番号カードへの切替えが行われることから、切替えが行われた後、平成 28 年度を目途にコンビニ交付サービス、その他多目的利用について検討をしているところである。	住基カードの交付状況(27 年 3 月末) 交付枚数 5,474 枚、普及率 4.4%
	担当課所		
平成27年度 進捗状況	主体課 (とりまとめ課)	平成27年10月に社会保障・税番号制度が開始されたことに伴い、平成27年12月末日をもって住基カードの新規発行が終了となり、平成 28 年 1 月より個人番号カードの交付が開始された。今後は個人番号カードを利用したコンビニ交付サービスの開始を検討していく。	住基カードの交付状況(27 年 12 月末) 交付枚数 5,721 枚、普及率 4.6%
	担当課所		